

新型コロナ渦

台風災害

あなたを守る社会を作る



日野市議会議員

奥野 りん子

昨年、史上最大級とされる台風が日本を直撃したかと思えば、年が明けるや、新型コロナウイルスが世界を襲いました。経験した事の無い事態が連続して起きている事によって、地域社会は疲弊し、市民生活は、ますます厳しく、市税収入も落ち込むものと思われます。

財政非常事態宣言の下、六月には、日野市の第六次行革計画が発表されますが、市民に安易に痛みを押し付けるものにならないよう、行政を監視していきたいと思えます。

新型コロナ 減収の方を生活保護へ

厚労省は、「緊急事態措置中は就職活動が困難なため、減収が認められれば、稼働年齢であってもこれを問わない」「元の仕事に戻れるよう、店舗や車の所持を認める。」という通知を出しています。お困りの際は、即、ご相談ください。

自然災害 避難所の改善を！

○避難者が 1000 名を超えた小学校ではパニックに

奥野りん子は、「職員の識別ができなかった」「職員の追加配置の基準が無い」「校内放送をしない学校もあり、情報が貰えなかった。校内放送の活用や、避難所ごとにアマチュア無線局を！」と訴えると、当局は、「対応する」と回答。

○直接、福祉避難所に行ける体制を！

奥野りん子は、「避難が必要な要支援者に予め登録してもらい、優先順位に基づいて電話で「リサーチ」を基本とすべきと求めると、当局は、「要支援者の状況を可視化し、災害規模や危険地域と突き合わせ対応していきたい。」と回答。

○「子ども福祉避難所」の開設を！

奥野りん子は、「子どもの泣き声等が気になる親子連れ」専用の避難所を指定せよ」と要求。当局は、「学童クラブや周辺施設に働きかけていく」と回答。

○「公共施設にスマホ充電器の配備」を！

奥野りん子の要求に対して、市長が、「停電対応の発電機をスマホ充電用に充てるとともに、USB内蔵の太陽光ランタンの購入を検討する」

○「無電柱化を！」→市長が「推進計画を策定する」と回答。

○「避難所から 11トンのごみが出て、授業前の清掃が大変」「避難所が満杯でたらいまわし！丁寧な情報発信を！」

上二つの要求に対しても、当局は、「改善していく」と回答。

学校図書館 司書がフルタイム勤務に！

昨年度から、学校図書館に司書が配置されましたが、短時間雇用では、放課後、子どもたちとふれあえません。図書教諭との打ち合わせさえできず、活用しづらいと訴えた結果、フルタイム勤務に変更されました。



りんこだより No.1024 4月10日発行
奥野りん子事務所 080-6548-1478